

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

校友会より母校へ熱い援助 —病院前に診療用テントほか寄贈—



大学病院前のロータリーに設置された陰圧式エアテントとトイレ用トレーラーハウス

新型コロナウイルス対策の一環として 一般希望者向けに抗体検査を開始

本学は6月4日（木）、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応として、医療用緊急エアテント3張りを学内に設置した。テントは松本歯科大学校友会の寄贈によるもので、うち1張りは陰圧式エアテント。病院前のロータリーに設置され、8日（月）からは同テント内で一般希望者向けに抗体検査を開始した。陰圧テント後方にはトイレ用トレーラーハウスを設置して利便性を向上させ、病院と大学の各入口には高精度人体検温システムを導入して非接触で温度検知できる態勢を整え、COVID-19防疫対策を強化した。

大学病院前のロータリーに設置された陰圧式エアテントは、広さ約30平方メートル（縦7.5メートル、横4メートル、高さ2.5メートル）。テント内は蛍光灯やエアコンも完備され、2室に仕切られている。前室

で受付を行い、2人同時に抗体検査が受けられる。検査の結果、陽性だった場合は、後室でPCR検査の検体採取に対応する。

抗体検査は、COVID-19の現在進行形の感染を疑う人のための検査ではないが、現在症状がない場合でも、過去にさかのぼって感染したかどうかを調べることができ、地域での感染状況を推測することにつながる。

個人・団体から 抗体検査の申込相次ぐ

本学は教育・診療活動の正常化に向けて、5月に学生や職員（関連企業を含む）ら1146人に抗体検査を実施し、全員が陰性で、本人ならびに周囲への感染リスクがないことを確認することができた。この結果がテレビや新聞で報道されて反響を呼んだ。一般向け抗体検査は当初は7月から人間ドックのオプションとして導入する予定だったが、検査を希望する市民からの問い合わせが相次いだため、開始を早め、単体で実施することを決めた。

陰圧式テントを導入しての一般向け抗体検査は県内初。検査希望者は現在発熱やせきなどの症状がないことが条件で、問診票に過去14日間の症状歴や人との接触歴、行動歴などを記入する。検査は平日の午前11時から午後2時に行い、予約制で税込5280円。

5日（金）から事前予約の受付を開始し、8日には予約した11人が検査を受けた。検査を終えた人は「思ったより簡単な検査で、10分ほどで結果が出るので便利だと思う」「陰性との結果が出て気持ちが楽になった。今後も予防対策を続けていきたい」と話していた。

その後も、個人をはじめ中信地域の企業・団体からの検査予約が相次いでいる。県内で宿泊・飲食事業を展開する株式会社五尺（松本市）は「スタッフが安心して仕事ができる環境作りとして、従業員118人全員に抗体検査を受けさせたい」と

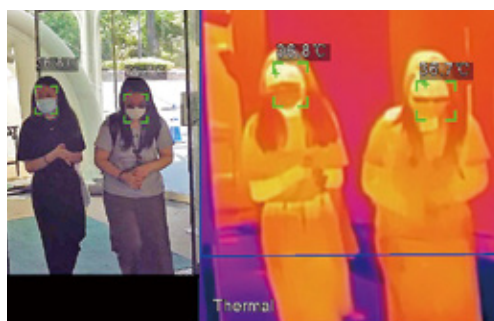
検温を迅速かつスムーズに

高精度人体検温システム導入 サーマルカメラで体表面温度を測定



大学本館入口のサーマルカメラ

松本歯科大学校友会の寄贈による「高精度人体検温システム」が6月19日（金）、病院と大学本館の各入口に導入された。遠赤外線を検出するセンサーを搭載したサーマルカメラによって、非接触で



体表面温度が表示されたパソコン画面

来院者および来校者一人ひとりの顔検出を行い、体表面温度を高精度に測定できる。サーマルカメラはセンサーで遠赤外線（物質や人から発せられる熱の波長）の強弱を検知し、カメラと接続されたパソコン画面には、空間の温度分布が色で表され、各人の体温が数値で示される。設定値（37.3度）を超えた場合はアラーム音で警告する。

この装置の導入により、これまでの検温の労力が省力化され、迅速かつスムーズに行うことが可能となった。

の意向から本学病院に抗体検査を依頼。15日（月）から数回に分けて同テントで全従業員が検査を受けた。前島信也病院長は「検査を通して地域での感染状況の把握や、社会・経済における抑制緩和に貢献したい」と話し、万が一、塩尻地域で感染の蔓延が起きた場合は、「行政などから要請があればテントを検査センターとして使うこともできる」との見解を示した。

トイレ用トレーラーハウス設置 利便性の向上はかる

29日（月）には、抗体検査を受ける人の利便性の向上をはかるため、陰圧式エアテントの後方にトイレ用トレーラーハウスが設置された。トイレルームとコンテナ専用台がジョイントしたトレーラーハウスで、外

寸は幅2.439メートル×長さ6.058メートル、高さは3.510メートル。上下水道ライフラインに接続でき、水洗式でシャワートイレを完備。男性室、女性室ともミラー付き洗面台1台とエアコン1基が設けられている。国土交通省が定める「男女共に快適利用できる仮設トイレ」の基準を満たした清潔空間を提供する。

また、陰圧式エアテントのほか、病院玄関前と本館エントランスには広さ16平方メートル（縦4メートル、横4メートル、高さ2.5メートル）のエアテントがそれぞれ設置され、来院者のトリアージや学生および職員の体調確認に活用されている。

このように本学はソフト・ハード両面において医療態勢をさらに充実させ、COVID-19感染拡大防止に努め、地域社会に貢献していく。

主張

感染防止はわれらの務め

新型コロナウイルスについて、本学は他の施設に先駆けて全職員・学生に抗体検査が実施され、全員の陰性が確認されたが、まだ油断は禁物だ。比較的安全と考えられてきた長野県でも、都府県を越えての人びとの交流が始まった段階で、約1カ月半ぶりに新感染者が発見されている。感染防止、とりわけ院内感染の徹底的な排除は、医療に携わる者の重大な責務であり、学生諸君にも将来の医療者としての自覚をもってもらわなければならない。

コロナウイルスは、ヒトや動物の風邪（common cold）の原因として古くから知られていて、ヒトが毎年のように引く風邪の10～15%が、このウイルスによるものだと言われている。本来は

約1000人に止まっているのは不幸中の幸いと言えよう。それでも、経済活動の停滞による大損害や各種学校の閉鎖、集会の中止など、近年まれにみる社会的大災害と言わざるを得ない。

スペイン風邪の恐怖を忘れるな

約百年前にも悪性インフルエンザ（H1N1）のパンデミックがあった。世界中で約5億人が感染し、1700万人から5000万人とも推計される大量の死者が出て、人類史上最悪の感染症のひとつとされている。

また第1次世界大戦の最中であり、最初は塹壕の中などに密集していた兵士たちの間で急速に蔓延していった。戦場の劣悪な衛生環境は、悪疫の広がり、拍車をかけたに違いない。

さらに彼らが母国に帰還した後には、周囲の人たちに次々に伝播していくことになる。スペインが発生源ではなかったが、この国は中立国で情報統制がなされていなかったために、患者の大量発生がいち早く報じられ、この疫病は「スペイン風邪」と呼ばれるようになった。

わが国でも1918年8月からの約1年間で2000万人を超える患者（当時の人口の半数近い）が発生し、約26万人が死亡した。病院や火葬場はともパンク状態になったという。

翌年夏には第2波が襲来し、感染者は比較的少なかったものの、約13万人が死亡している。



病棟で治療を受けるスペイン風邪に罹患したアメリカ陸軍基地の兵士

こうした惨禍が繰り返されるのではないように、われわれもできる範囲の取り組みを強化していかなければならない。

わが大学と病院は、入館者の体温チェックや消毒の徹底、防護衣着用など、万全の体制を整えているが、個人レベルでの予防対策についても、もう一度お

さらしいておくべきだろう。

このウイルスの感染力はきわめて高いが、感染者からの咳などの飛沫の吸入や接触を避ければ防ぐことができる。大気中では紫外線で死滅するから、いわゆる空気感染はあまり心配しなくてよい。布マスク（アベノマ

スクのドタバタ騒ぎは「お粗末」な一幕だったが…）はウイルスの通過を許すというものの、飛沫を遮断する意味では有用である。

いわゆる三密（密閉空間・密集・密接）の回避とともに、飛沫が付着する可能性がある物体の表面の消毒が重要となる。

幸いなことにコロナウイルスそのものは脆弱な病原体である。煮沸や通常の消毒剤では死滅しないB型肝炎ウイルスなどとは違って、基本的な対応で十分だ。

生体外であれば、高濃度のアルコール（70%以上のエタノールなど）や家庭用の洗剤などでエンベロープという外皮を破壊すれば容易に死滅する（アルコールが効くからといって飲みだのではだめ）。漂白剤に含まれている次亜塩素酸ナトリウム（アルカリ性）もきわめて有効だ（「次亜塩素酸水」は酸性で別物。その空中噴霧には問題があるようだ）。

なによりも重要なのは病原体が付着しやすい手指の消毒で、しっかりと手を洗うことを忘れてはならない（コロナ騒ぎで多くの人が手洗いを励行した結果、この冬に東京都でインフルエンザの死者数がゼロになるという奇跡が起こった）。

しかしながら、感染してしまつたら最後、まだ特效薬は見つかっていない。細菌とは違って、ウイルスには抗生物質は効かない（トランプ大統領が「消毒薬を注射したら」と言ったそうだが、DNAやRNAそのものであるウイルスを、生体の細胞に害を与えることなく体内で死滅させることは原理的にも困難だ）。ワクチンも完成までに時間がかかりそうである。なによりも予防に専念しよう。それとタバコが好きな方は、これを機に禁煙してほしい。志村けんのは死はタバコがリスク因子であることを証明している。

（笠原 浩）

新型コロナウイルス感染症対策支援 校友会から会員へN95マスクを送付



校友会から会員へ送られた N95 マスク

松本歯科大学校友会はこのほど、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み、全国の会員

約3000人に対してN95マスクを送付した。今回校友会に送ったのは中

国製N95ヨーロッパ型マスク。ウイルスを含んだ飛沫の侵入を防ぐことができる高性能なマスクで、医療施設等における診療での感染の可能性を最小限に抑えることができる。校友会は4月、新型コロナウイルスの全国的かつ急速な蔓延

が日常の診療に甚大な影響を及ぼすとして、N95マスクを緊急輸入し、5月中には会員への発送を完了した。

マスクを受け取った会員からは、「卒業後数十年が経ち長らく大学を離れておりましたが、大変な時期に入手困難なマスクを

2期生・村山偉知朗先生ご寄稿 スタッフに安全を、患者さんに安心感を

ムラヤマ歯科（富山市）では緊急事態宣言後も予約患者や緊急患者を診ていました。しかし、学校や保育所が緊急事態宣言による休業のために欠勤を余儀なくされた、お子さんをお持ちの歯科衛生士が3人いたために患者数を減らしました。

今までもわれわれは血液感染に最大限の注意を払い（保険点数

に比して採算の合わない）多大なコストをかけてきました。しかし、エアロゾル感染に対して脆弱性を持っていたことに気づかされました。

当院では、診療室スタッフは全員が十分な防護服を着て、めがねとフェイスシールドを着用して診療を行っています。プ

D-19の予防に繋がることから分かるように、歯科医療は飛沫感染の文字通り、最前線にいます。

歯科衛生士の出勤拒否で休業に追い込まれる歯科医院もある中で、当院のスタッフがこのご時世に使命感と共に意気軒昂で仕事しているのは、副院長（息子）と私がスタッフの安全を水際でコントロールし、守っていることを理解しているからです。

「多分、大丈夫」では部下はついてきません。最近は患者さん

にも防護キャップとガウンを着てもらって診療しています。それは感染対策の知識に乏しい患者さんにとにかく安心感を与えるためです。

患者さんがこのような体制をものものしく感じたり、あるいは歯科医院を受診することに恐れを抱いたりするのは、逆

と考えています。

先ごろ、校友会よりN95マスクが届きました。一時期とは違い最近ではマスクも手に入るようになりましたが、プロ用のマスクが欲しいところでしたので、とても嬉しく思いました。校友会関係者に心よりお礼を申し上げます。

（2期生 村山偉知朗）



徹底した感染対策のもとに行われている診療

MTBペダリング 随想記



元シブニー五輪日本代表
鈴木 雷太

少しずつではあるが、コロナの混乱から通常の生活に戻り出した。しかし同時にアフターコロナの社会構造的な変化「ニューノーマル（新常态）」を実感しつつもある。

身のまわりでは手指消毒が一般化し、マスクもほとんどの人がつけている。反面、海外のニュースを見るとトランプ大統領はほとんどマスクを使用せず、市民の着用率も低い。以前米国に入国した際、風邪予防でマスクをしていた選手に対して「ウイルスを持っているのか？」と強い口調で質問されたことを思い出した。予防策としてマスクをつけ、少しの体調不良でも頑張ってしまう日本と、体調が悪いのであれば家で休むという米国の考え方の違いだろう。

自転車文化が発達しているイタリアでは、人の移動を自転車に転換しようという国が乗り出し、新車の購入時に一人一台あたり500ユーロの補助を始めた。バスや電車での密を避ける狙いでもあるが、車ではなく自転車という考えは日本ではなかなか生まれないだろう。それはなぜか？そこには文化の存在がある。イタリアの自転車文化、勤勉な日本、ウイルスと戦うアメリカ。各国の根っこにある文化で行動の違いが出てくる。

9月からの自転車競技の国際大会に向けて遠征計画を準備中であるが、外務省は開催地である欧州への渡航を中止するよう勧告している。日本文化は安全に物事を進める傾向もある。コロナ禍からの脱却の正解を見つける旅は、まだまだ続きそうである。

理事会報告

2019年度事業報告、決算等を承認

学校法人松本歯科大学の第195回理事会および第137・138回評議員会が5月28日（木）、本部館3階会議室で開催され、2019年度事業報告ほか各議案を審議、いずれも満場一致で承認可決された。今回は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、県外の理事などとオンラインによるWEB会議で行われた。



WEB 会議で行われる理事会・評議員会

- 【会議事項】

 - 2019（令和元）年度事業報告について
 - 2019（令和元）年度決算について
 - 寄附金品の受納について
 - 任期満了に伴う理事の選任について
 - その他

①歯学部教育の質の保証と向上

・進級判定、卒業判定ともに判定基準を明確にし、客観性のある厳格な成績判定を実施した。

・授業評価アンケートを2回実施し、授業に対する学生の理解度や満足度等を調査した。結果は教授会で周知するとともに職員イントラネットで公表し、授業改善に取り組んだ。

・学生生活満足度調査を年1回実施し、学生生活の実態を把握することに努め、大学環境の改善等に向けた
- 基礎資料とした。

・研究入門プログラムとして、第2学年に「歯科医学研究A」、第3学年に「歯科医学研究B」を開設し、未来の歯科医療を拓くりサーチマインドの養成を行った。

・各学年に学年主任と補佐を5～6人程配置し、学生の修学状況の把握や、学修および学生生活の相談に応じ、学生をサポートした。

・自発的学習を促す自己研鑽可能な教育システムとして、学生イントラネットに授業資料やウィークリーテストの問題・正答を掲載したほか、第4～6学年生に対しては、スマートフォン端末を用いた学習システムを運用した。

・学生の自主学修体制の支援として、第6学年生の卒業準備委員会のほか、第4・5学年生の学年委員会の設置を認め、専用の自習室を貸し出す等学生の自主的な学修活動を支援した。

・FD研修会を7回開催し、教員の教育力の強化に努めた。

②退学者、除籍者の低減

・退学者の減少、友人づくりの支援を目的とした初年次教育として、新入生オリエンテーションを4日間実施した。

・学生相談室に非常勤カウンセラーを配置し、週1日1・5時間のカウンセリングを実施した。毎回1～3人の相談者が訪れ、さまざまな心理的問題に対応した。

2. 大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所

①大学院の学生定員充足率向上

・大学院学生募集要項と願書等の出願書類については、PDF版を大学ホームページに掲載。志願者が必要な書類をダウンロード可能とし、資料請求の効率化を図った。

・歯学部第6学年生と臨床研修歯科医に対し、6月に大学院説明会を実施した。

・一般選抜のほか、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋期選抜試験を実施した。

・入学者は2019年度秋期選抜が2人（留学生1人）、2020年度春期入学が9人（留学生1人）であった。
- ②大学院教育の実質化

- ・授業に出席できない遠方に住む社会人学生に対応するため、授業を収録した映像をWEB配信により視聴できるようにし、メール等で個別指導を行い大学院教育の実質化を図った。

・第1学年導入科目の医療・科学倫理学概論では、3コマ「English for science & research」「Reading a scientific article」の英語講義を設定し、英語論文活用や英語による発表のためのスキル養成に努めた。

・国内外の研究者を招き大学院セミナーを9回開催し、大学院生の能力向上と教員の研究活動の活性化を図った。

・学位論文の審査は、客観的で公平性のある審査を実施し、厳格な判定を行った。

③標準修業年限での学位授与の促進

・大学院生の指導は、複数教員指導体制とし、主指導教員は学位論文の作成着手から完成に至るまでの研究指導の主要な任務を果たした。

④大学教員、研究者の養成

・ティーチング・アシスタントとして大学院学生4人を採用し、教育・指導者となるためのトレーニングの機会を提供し、経済的な支援も行った。

⑤世界水準の研究活動の推進

・Nature Medicine 誌、Cell Reports 誌等の学術雑誌に研究成果が掲載された。

⑥学位授与状況

・早期修了学位取得者2名、標準修業年限での学位取得者11名、論文提出による学位取得者2名
3. 松本歯科大学衛生学院

①入学定員の充足

・県内の指定校や入学実績校18校へ高校訪問を実施した。企業または歯科医師会主催の進路説明会に参加し、学生募集を行った。

・大学院生の指導は、複数教員指導体制とし、主指導教員は学位論文の作成着手から完成に至るまでの研究指導の主要な任務を果たした。

②大学教員、研究者の養成

・ティーチング・アシスタントとして大学院学生4人を採用し、教育・指導者となるためのトレーニングの機会を提供し、経済的な支援も行った。

③本学病院における臨床実習の強化

・演習時のグループワークや実習での班行動を通じ協調性を培った。

・第1学年より医療従事者の心構えなどを学び、戴帽式、登院前オリエンテーションにおいて、医療人としての自覚、責任を認識させた。

令和元年度資金収支計算書および令和2年度予算書		
(平成31年4月1日～令和2年3月31日) (令和2年4月1日～令和3年3月31日)		
(単位 円)		
収入の部		
科 目	令和元年度決算	令和2年度予算
学生生徒等納付金収入	2,203,575,553	2,322,485,000
手数料収入	18,648,800	21,000,000
寄付金収入	93,060,000	16,200,000
補助金収入	250,226,022	224,000,000
資産売却収入	7,298,534	0
付随事業・収益事業収入	1,686,503,891	1,855,026,573
受取利息・配当金収入	88,223,959	86,000,000
雑収入	137,211,035	64,800,000
借入金等収入	0	0
前受金収入	364,609,221	336,790,000
その他の収入	1,600,397,578	1,189,000,000
資金収入調整勘定	△ 646,556,825	△ 486,000,000
前年度繰越支払資金	622,391,153	622,391,153
収入の部合計	6,425,588,921	6,251,692,726
支出の部		
科 目	令和元年度決算	令和2年度予算
人件費支出	2,491,501,188	2,116,089,629
教育研究経費支出	1,442,799,262	1,504,484,161
管理経費支出	654,037,804	772,904,561
借入金等利息支出	0	0
借入金等返済支出	0	0
施設関係支出	131,904,192	168,531,890
設備関係支出	72,586,063	155,020,000
資産運用支出	3,435	0
その他の支出	1,396,563,845	1,360,700,000
〔予備費〕	0	200,000,000
資金支出調整勘定	△ 442,944,295	△ 324,000,000
翌年度繰越支払資金	679,137,427	297,962,485
支出の部合計	6,425,588,921	6,251,692,726

貸借対照表
令和2年3月31日

(単位 円)		
資産の部		
科 目	本年度末	前年度末
固定資産	17,468,877,415	18,559,803,926
有形固定資産	13,995,820,006	14,586,555,446
土地	3,936,073,628	3,936,073,628
建物	7,922,731,686	8,437,998,691
その他の有形固定資産	2,137,014,692	2,212,483,127
特定資産	105,665,718	305,662,659
その他の固定資産	3,367,391,691	3,667,585,821
有価証券	3,177,671,865	3,482,670,399
長期貸付金他	189,719,826	184,915,422
流動資産	1,078,146,447	1,044,829,512
現金預金	679,137,427	622,391,153
その他の流動資産	399,009,020	422,438,359
資産の部合計	18,547,023,862	19,604,633,438
負債の部		
科 目	本年度末	前年度末
固定負債	971,066,537	1,089,200,553
流動負債	1,043,278,668	898,534,926
負債の部合計	2,014,345,205	1,987,735,479
純資産の部		
科 目	本年度末	前年度末
基本金	40,864,683,664	40,737,056,364
繰越収支差額	△ 24,332,005,007	△ 23,120,158,405
純資産の部合計	16,532,678,657	17,616,897,959
負債及び純資産の部合計	18,547,023,862	19,604,633,438

- ①特別委託医院との連携を図り、検査に関わる診療報酬実績が17.5%増となった。

②整形外科開設により、松本医療センターや接骨院等の依頼に応じ、紹介患者の診療を受け本院の果たすべき役割を推進した。
2. 診療

・病院全体の患者数は前年度比4.0%減だったが、診療実績は前年度比0.8%増となった。
- ③共通部門

①施設・設備の維持管理

・落雷によるCampus Inn各棟屋の機器故障の改修工事を行った。

・本館地階大型空調設備1機について、製造より35年経過しているため更新した。

②図書館

・読書会を5回開催し、幅広いジャンルの図書が紹介され、書評を公開した。

③組織・人事

・毎月1回SDを実施し、事業計画や自己点検評価等を中心に各担当部署から発表を行った。

④経常的経費の見直し

・物品および消耗品の購入、設備の修理や工事等に係る見積合わせの実施を徹底し、適正な予算執行に努めた。

⑤学生募集・広報活動

・一休体験入学を12回開催し、85組が参加（前年度比35%増）、参加者の在籍する高校を訪問してアフターフォローを行った結果、AO入試等の出願増加につながり、募集人員を確保できた。

⑥知的財産管理

・2019年度は2件の新規特許出願および1件のPCT出願を行った。

待ちに待った対面授業がスタート 学生の笑顔と勉学への意欲あふれる



スクリーンが設置された学生ホールでの「生化学」講義

全学生を対象とした新型コロナウイルス感染症抗体検査が5月に行われ、全員が陰性との結果を受けて、6月1日(月)より対面授業がスタートした。

それに先がけて、歯学部第1学年のオリエンテーションが5月26日(火)・27日(水)の両日に行われた。中村浩彰教務部長が、建学の理念やディプロマ

ポリシーについて説明し、6年間で歯科医学を習得するためのカリキュラムや進級の条件、共用試験を経て歯科医師国家試験に合格するまでの心構え等を話し、「学生同士の結びつきを深め、共に学び互いに高め合うという姿勢が重要です。日々の学習を積み重ね、目標に向かってがんばりましょう」と論じた。

対面授業は第6学年が先行して5月21日(木)から開始し、第1～5学年は6月1日から始

まった。第2学年の「生化学」の講義は、本来は実習館の階段教室で行われる予定だったが、三密を避け換気が充分できるよう図書会館2階の学生ホールに教室を変更。出入り口や窓を開け、後方席の学生も板書が見えるようスクリーンを設置して

の授業となった。授業を担当した口腔生化学講座の宇田川信之教授(歯学部部長)は「待ちに待った対面授業が始まりました。学生の皆さんが真剣に取り組み熱気がじかに伝わってきます。日常の体調管理、検温、手洗い、うがい、マスク

着用を徹底し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、勉学に集中していきましょう」と呼びかけた。

なお、入国拒否により来日できない第1～5学年の留学生に対しては、引き続き講義動画をウェブ配信する。

塩尻市と医学生物学研究所から

学生と医療従事者へマスク寄贈される

このたび新型コロナウイルス対策への支援として、塩尻市と株式会社医学生物学研究所より本学にマスクが寄贈された。

塩尻市では新型コロナウイルス感染症予防のため、5月から市民を対象に一人あたり10枚のマスクを配付している。

今回は、未来の歯科医療を担う本学学生が安心して勉学に取

り組めるようにとのご厚意から、住民登録をしていないキャンパスイン寮生に対しても、一人あたり10枚のマスクが行き渡るよう3500枚が寄贈されることとなり、6月1日(月)、寮生を代表して王昶慶君(第2学年)が市の担当者の方から受け取った。



寮生を代表してマスクを受け取る王君

支援センター・校友会・蒼穹

病院だより vol.22

シリーズ専門性⑪ 放射線検査室

シリーズ期待のホープ④ 診療放射線技師 北澤怜奈さん・土田幸子さん

放射線検査室は歯科、内科、健診センターおよび外部の連携病院から依頼を受け日々業務を行っております。今回の病院だよりでは「専門性」と「期待のホープ」の両シリーズで放射線検査室を取り上げ、当院が備える最新機器もあわせてご紹介いたします。

シリーズ専門性

放射線検査室はさまざまな最新の撮影装置を用いて、より精度の高い診断に寄与するための画像を提供しております。歯科部門ではデンタル撮影、パノラマ撮影およびセファロ撮影装

置がありますが、いずれもデジタル化され、特にパノラマ装置は世界最高画質を有するものが設置されています。また頭頸部用CTは低線量ながら高画質を有しています。他に胸部撮影を始めとする一般撮影、ヘリカルCT、MRI、骨密度測定装置(DXA)、X線透視装置およびマンモグラフィ



マンモグラフィ 乳房専用のX線撮影装置。乳がんの早期発見に最も有効な画像診断のひとつ。



頭頸部用CT 頭、歯、耳鼻科領域など頭頸部の硬組織、周辺組織の3次元的な診断に適した装置。

装置(MMG)が設置され、合計11種のモダリティを担当しています。昨年10月に整形外科が開設され、一般撮影、CT、MRIおよびDXAの依頼が増加しています。加えて近年、乳がん患者が多いことから、検診によるMMG検査がますます増加しています。

技師2人の増員により男性2人、女性3人の計5人体制となりました。肺がんCT検診認定や検診マンモグラフィ撮影技術認定を有した技師が、さらなる専門知識習得を目指し通常の診療業務から救急業務まで対応しています。地域医療に貢献する

シリーズ期待のホープ

ためスタッフ一丸となって日々研鑽し、ご要望とされる画像を提供できるように頑張っています。昨年度、ぜひ貴重なご意見をお寄せください。

2月より勤務しております北澤怜奈と申します(スタッフ写真右端)。以前は内科の病院で勤務しておりました。松本市出身です。歯科領域の撮影は初めてのことで、知識も全くなくゼロからのスタートですが、先輩方からご指導いただきながら患者さんの治療により有益な画像を撮影できるよう、日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いたします。

3月に入職しました土田幸子と申します(スタッフ写真左端)。出身は長野市です。趣味は美味しい物を食べることとヨガです。体が柔かくなるようにダイエ

体が柔かくなるようにダイエ

診療放射線技師は、診断に寄与するための画像提供はもちろん、患者さんへ安心と安全も提供しながら検査を行っています。強力な磁場が発生するMRIでは、問診票を過信することなく入念な入室チェックを行い、痛みや体動の発生を少しでも軽減できるよう、クッションやタオルなどで安楽な姿勢を保つ工夫も行っています。小さなお子さんを対象とした画像検査では、時に保育士のように対応しながら後援に撮影を進めていきます。マルチな顔を持つ診療放射線技師が新体制としてさらにパワーアップしました。これからの活躍がますます期待されます。



テイクアウトのそば

対応する。

そばのテイクアウト 学食の味をご家庭で

Beans Café3号店(本館北棟売店)はこのほど、学生食堂のそばのテイクアウトを開始した。そばとつゆ、かき揚げのセットを税込500円で販売している。

昨年3月に麺とつゆを一新し

リニューアルしたそばは学食の人気メニューのひとつ。新型コロナウイルスの影響で外出自粛が求められ、家庭で食事を取る機会が増えるなか気軽に学食の味を楽しめるという好評。そばは真空パックの冷凍保存で販売し、発送にも

Economic News

内外の経済 6月29日付

株価	
日本	22,022.42円
米国	25,015.55ドル
金地金店頭価格 (消費税込み)	
買い (1グラム)	6,741円
売り (1グラム)	6,649円
白金店頭価格 (消費税込み)	
買い (1グラム)	3,140円
売り (1グラム)	3,020円

東京外国為替相場と各定期預金金利 (3ヵ月)	
米ドル	108.12円 0.20%
英ポンド	133.42円 0.10%
ユーロ	121.39円 0.01%
スイスフラン	114.05円 0.01%
タイバーツ	3.54円 0.01%
日本円	— 0.01%

28日(火) 留学生選抜(A) 編入学選抜(A) 合格発表

26日(日) 一日体験入学(歯学部)

25日(土) 留学生選抜(A) 編入学選抜(A)

22日(水) 大学院発表会

18日(土) 一日体験入学(衛生学院)

8日(水) II期試験(第6学年)

7月行事予定

人事異動

〔退職〕	
鈴木 恵理	5月19日付 重篤な病状を理由に退職
〔採用〕	
荒井 敦	5月31日付 准教授(歯学部口腔矯正学講座)
菅生 秀昭	5月31日付 助教(歯学部口腔矯正学講座)
宮坂 博子	6月1日付 事務局長補佐(ハートケア)
細田 朝子	6月1日付 事務局長補佐(ハートケア)
村井 美輝	6月1日付 (研修歯科医)
百瀬 尚代	6月1日付 外務課室長補佐(事務)

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

① 7月26日(日) ② 8月2日(日) ③ 8月23日(日)

※7・8月開催分のみ掲載

開催時間 9:40~15:00 (受付 9:15~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験 ●模擬実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp